

## ★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 蒲池みゆき 副委員長 坂本修一・和田有史

幹事 川崎真弘・坂野雄一・望月理香 幹事補佐 和田充史・金谷英俊・山田祐樹

日時 10月22日(月) 13:15~17:00

23日(火) 9:20~16:10

会場 京都テルサ視聴覚研修室(京都市南区東九条下殿田町70 新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内, JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分, または近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分, または地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分. <http://www.kyoto-terrsa.or.jp/access.html> TEL [070] 4538-4213 坂野雄一(NICT))

議題 眼球運動(調節, 瞳孔を含む), 空間知覚(奥行き知覚・運動知覚等), 及びヒューマン情報処理一般

22日

1. 系列的手続きにおける学習方法の効率比較—ボタン構成に注目した検討— ○保科みず希・森田ひろみ(筑波大)
2. 意味空間学習モデルの構築と側頭極における機能的役割の検討 ○出田達大・小濱 剛(近畿大)
3. 立ち上がり動作の予測—筋電位と姿勢を用いた動作の計測と予測—  
○武田健資・井藤隆秀・近藤一晃・中村裕一(京大)・秋田純一(金沢大)・戸田真志(熊本大)
4. 錯視が障害物跨ぎ越し時の運動・視線行動に与える影響  
○桜井良太(東京都健康長寿医療センター)・児玉謙太郎(神奈川大)
5. 映像のライブ感とベアの眼球運動の因果的応答—2名同時イトラッキングによる検討—  
○中村遥香・葭田貴子(東工大)
6. 指導者の視線情報を用いた部位重要度の可視化 ○大隅彰太・工藤博章・松本哲也(名大)・竹内義則(大同大)
7. [招待講演] 人の目の観察により導き出されるもの—注視・環境情報・介護スキルの推定— 中澤篤志(京大)

23日午前

1. ベクシヨンの前後方向異方性における上下呈示視野の効果 ○藤本花音・蘆田 宏(京大)
2. 能動的自己回転時の視覚刺激速度が, 意識下の身体制御に与える影響  
○渡久山 遼・久方瑠美・金子寛彦(東工大)
3. 姿勢変化により前庭・体性感覚と視覚の重力方向情報の関係が変化したときの前額平行面上の運動知覚  
○三輪拓馬・久方瑠美・金子寛彦(東工大)
4. 放射状視覚刺激への輻湊眼球運動の反応 (ISIの効果) ○小高 泰(産総研)・久代恵介(京大)
5. サッカード変位抑制におけるブランクとフリッカーの効果 ○玉田靖明・倉元祐輔・佐藤雅之(北九州市大)

23日午後(13:30~)

6. 視対象の輝度変動とそれに対する瞳孔対光反射のタイミングの関係を用いた視線入力手法の提案  
○市野将真・金子寛彦(東工大)
7. The infrared condition in the measurement accuracy with gaze tracking device  
○Masatoshi Kitaguchi・Masahiro Wakabayashi・Hiromichi Sato・Tomoyuki Naito (Osaka Univ.)
8. 両眼視差定義の孤立オブジェクト仮現運動における奥行き位置効果 ○金谷英俊・森田磨里絵(立命館大)
9. 奥行き知覚におけるファミリアリティーの効果  
○根岸一平(金沢工大)・Elizaveta Mischenko・Elena Gorbunova・Tadamasa Sawada (HSE Univ.)
10. 1次元インテグラルフォトグラフィの試作 ○矢野澄男・長谷川 慧(島根大)・Min-Chul Park (KIST)
11. 単眼運動視差による奥行き知覚における刺激の運動方向転換時の重要性和頭部運動の移動幅の影響  
○増田裕樹・金山一平・陶山史朗・水科晴樹(徳島大)

◆日本光学会; 視覚研究グループ共催

◎22日プログラム終了後に懇親会を予定しております。懇親会への参加を希望される場合には, 18日(木)までに会場世話人の坂野(yuichi@nict.go.jp)までメールでお申込み下さい。なお, 発表申し込み時に既に懇親会への参加を表明されている方は申込み不要です。